

令和元年度

福島県環境審議会全体会議事録

(令和2年2月7日)

1 日時

令和2年2月7日（金）

午後 1時30分 開会

午後 2時55分 閉会

2 場所

自治会館1階 消費生活センター研修室

3 議事

令和2年度水質測定計画について

4 出席委員

大堀武 河津賢澄 川名静子 崎田裕子 清水晶紀 鈴木秀子

高橋龍之 武石稔 武田憲子 中野和典 二瓶恵美子 橋口恭子

細谷寿江 松枝智之 油井妙子 渡邊明 （以上16名、五十音順）

5 欠席委員

大迫政浩 小野広司 鞍田炎 高荒智子 新妻和雄 門馬和夫

（以上 6名、五十音順）

6 事務局出席職員

大山生活環境部次長（環境共生担当）

鈴木水・大気環境課長

小池水・大気環境課主幹兼副課長 他

7 内容

（1）開会 （司会：渡邊水・大気環境課専門薬剤技師）

（2）挨拶 大山生活環境部次長（環境共生担当）

（3）議事録署名人

議事に先立ち、渡邊会長から議事録署名人として橋口委員と細谷委員が指名された。

（4）議事

令和2年度水質測定計画（案）について

事務局（鈴木水・大気環境課長）から、資料1、資料2及び参考資料3に

より、水質測定計画（案）について説明した。また事務局（小池主幹兼副課長）から、参考資料1及び参考資料2により、平成30年度の公共用水域及び地下水の水質測定結果について、説明した。疑義等については以下のとおり。

【鈴木水・大気環境課長】

2名の委員から事前にご質問をいただいています。

まず、本日欠席している高荒委員からは、一覧表の網掛けの意味について、ご質問を頂きました。これについては昨年度との変更点を示しています。高荒委員にはその旨をご連絡し、説明しました。

なお、最終的にはこの計画は冊子になります。その際には網掛けは外した形で作成します。

次に高橋委員から。昨年の台風や大雨などで河川の氾濫等により河川の形状が変わったり、橋が崩落したりするなどして、測定地点を変更しなければならないという地点はないという解釈で良いかというご質問をいただきました。

これについては、変更地点はありません。ただし、一か所、先週の大雨により仮の橋が流されました矢祭町の高地原橋については、別の仮橋が架かるということなので、その別の仮橋で調査を続けます。

【中野委員】

原則として、測定計画では前年と同一の地点を実施するとのことであるが、猪苗代湖に限っては大腸菌群数に加えて、糞便性大腸菌群も測定してはどうか。

糞便性ではない一般細菌を大腸菌群数として検出している可能性が高いという背景があるからです。結局、糞便性なのか、一般細菌なのかを区別できれば、原因が分かり、生活排水由来ではない可能性があります。猪苗代湖の全地点とは言いません、湖心だけでもいいのでそういうところから試行してはどうか。

【鈴木水・大気環境課長】

大腸菌数については測定計画には入れていないが、従来から県の調査研究（モニタリング）事業として、現在の環境創造センター、それ以前は環境センター当時から測定しています。過去の測定結果については全てホームページで公開しています。本測定計画とは別事業で実施しています。

【渡邊議長】

糞便性の大腸菌群と土壌由来の大腸菌群を区別して調査しているかという質問だと思いますが、測定をしているということでいいのでしょうか。

【鈴木水・大気環境課長】

測定しています。

【武石委員】

令和元年度の測定結果が順次判明しているかと思いますが、今回の水質測定計画については、概ね平成30年度の測定結果を基に作成していると思いますが、令和元年度の測定結果も反映されていますか。

【鈴木水・大気環境課長】

例えば、令和元年度にいわき市について、環境基準は超過していないが土壌由来と思われるひ素が報告下限値を上回ったということで報告があり、その地点については、令和2年度から継続監視調査を実施することとしています。

それ以外の地点については概況調査の中で、環境基準を超過したという事例は報告されていません。仮に環境基準を超過するような事例があれば、速やかに汚染井戸周辺地区調査を実施し、次年度の計画に反映するというようになります。

【渡邊議長】

ご質問の意図は本日ご報告いただいたのが平成30年度の測定結果だったので、令和元年度の調査結果が令和2年度の測定計画に反映されているかということかと思うが、いかがでしょうか。

【武石委員】

参考資料1と2で説明いただいたのが、平成30年度の測定結果であり、令和元年度のものではありませんよね。

【小池主幹兼副課長】

本日説明しました平成30年度の調査結果については、当課で行っている調査全体のとりまとめが終了し、公表させていただいているものを報告しました。令和元年度の調査結果も反映させた上で、令和2年度の計画を作成しています。さきほど、本宮市糠沢地区でベンゼンを項目として追加していますが、こちら令和元年度の結果を元に反映しているものです。

【松枝委員】

台風19号により、2度ほど郡山市において、シアン化合物が流出する事象がありましたが、中核市のデータは県では把握しておらず、直接環境省へ報告がいきますか。

【小池主幹兼副課長】

通常の場合においては、公共用水域における中核市のデータは、年1回県がデータのとりまとめを行う際に提供を受けています。今回のような災害等の非常時においては、郡山市でシアン化合物が流出したという事象でしたが、そういう事故の状況などについては、その都度、県から照会し、確認しています。今回の台風19号では、郡山市でシアン化合物が流出した事象がありましたので、県として各地方振興局及び中核市に対して、それぞれの管内で同様の事例がないか照会し確認しました。いわき市については、そのような事例がないことを確認しています。県の管内で確認し、本宮市にある（有）アイシー産業においてドラム缶が流出したことや本宮アルマイトでフッ素化合物が流出したこと等を確認しています。

【渡邊議長】

松枝委員、よろしいでしょうか。

【松枝委員】

今回、確認しましたことについては、今後計画に反映されますか。

【小池主幹兼副課長】

今回は緊急事態における対応です。郡山市のシアン化合物の流出や本宮市のドラム缶流出等についてはその都度、郡山市や国土交通省と連携し、水質検査を実施しました。県や国土交通省で実施したシアン化合物やVOCの検査では検出されませんでした。来年度については、計画にある通常の頻度で調査を実施することとしています。

【崎田委員】

本来であれば、測定計画について発言すべきと思いますが、計画を確認していた時に、今がどうなっているかというのを説明していただくことが前提でないかと思っていたので、測定結果等の状況を聞いて良かったです。

内容的に率直に何うと、環境基準を達成していないところがいくつか出てくるというのは、いつも調査をするとこういう結果になって、それに対して対策をするが、そういう状態が続いているという理解でよいでしょうか。

その上で対策に関して、質問があります。

【小池主幹兼副課長】

公共用水域、特に湖沼の場合については、環境基準が達成できていないのは例年同じような地点です。特に山間部の尾瀬沼、秋元湖は自然の植物由来というふうに考えられているので対策が難しい状況です。

千五沢ダムについては、周辺的生活排水対策や畜産農業からの影響というふうに考えられているので、そのようなところに指導をしていく。また生活排水対策を市町村と連携して実施しているところです。

【崎田委員】

ありがとうございます。参考資料1の最後に原因と対策の記載があります。自然由来であるとか人工由来であるとか交通整理ができていればよいと思います。自然由来のところ対策が難しいとのことですが、専門家に知恵を出していただきながら、対策の検討をしていただければと思います。

資料2の地下水について、井戸の所有者に対してはどのような指導をしますか。井戸を使わないようにしていただくのか、それとも他の指導を行っているのか、教えてください。

【小池主幹兼副課長】

まず、公共用水域調査のうち、汚濁原因が自然由来の時の対策については、専門の方に意見をいただきながら考えていきたいと思います。

地下水については、井戸の所有者に対して、基本的には飲用する場合の注意点ということで指導を実施しています。近くに水道の配管があり、上水への切り替えが可能な場合には切り替えをお願いしています。また、特にVOCによる汚染については、生水の飲用を控えてもらう等のお願いをしています。

【崎田委員】

実はこういう風に苦労されている状況があまりわからなくて、次の段階のことについて、質問しようと用意をしてきました。

最近、地下水の中に含まれるPFOS（パーフルオロオクタンスルホン酸）やPFOA（パーフルオロオクタン酸）といった有機フッ素化合物について問題になっています。PFOSは10年前に使用禁止にはなっていますが、残留性があるって、体内に残留することがわかっています。近くにそれを扱った工場や基地があることが汚染の原因であるというようなことが新聞報道されています。PFOAについては、環境基準を作らなければならないと

いう動きがあり、今後早めに手を打つというか、関心が高まっていることについて、どのように手を打っていただくのか、どのように考えているのかを伺いたいです。

【渡邊議長】

飲用指導以外に原因究明を業者に委託したりすることはありますか。

【鈴木水・大気環境課長】

指導の範囲にどうしてもなってしまうますが、例えば今回ベンゼンが超過した件では事業者に対して、「お宅の井戸で汚染が見つかりました。周りでは汚染は見つかりませんでした。何か原因となることはないですか。」というように心証としては黒でも推定でしかありません（断定はできない）。

対策としては、まずは自分の井戸を浄化してくださいと指導をしています。もし、その井戸の周りに井戸が密に分布し、地図に書いてみてコンター図（濃度分布図）が作成できれば、その図で汚染原因が判明します。その際には周りの井戸における対策にも指導します。過去の事例であります。水道を引くためのお金を出すと、浄水器を買うとか、その様な対応をしたこともあります。

P F O SやP F O Aの話ですが、我々の方でも水質測定計画とは別に化学物質の調査、モニタリングというものは実施していて、対象項目を選定する際に、例えばP R T Rのデータを見たり、先生がお話になられたような情報を元に選定したりし、予算の範囲内で調査を実施しています。

残念ながらP F O SやP F O Aについては、まだ本県の機関での調査分析は行っていませんが、環境省が今年度から調査を実施するので調査に協力する形でサンプリング等は実施します。

【大山次長】

本宮の井戸の事例について補足すると、もともと飲用に使用されていない井戸になります。

【渡邊議長】

地下水の調査を進めると基本的にはコンター図（濃度分布図）を描けるようになる。基本的には汚染が広がっていくわけです。ですから、そういう意味では汚染源の一つの段階で、例えば地下水流動をきちんと見つけて、汚染がどのように広がるかを確認するとか、汚染が広がらないようにするとかの課題があると思っていて、県の計画では汚染があった場合に基本的には3年間継続して観測するということだが、ある程度汚染の濃いところ、重大だ

というところの地下水流動を観測して、事前に汚染の広がりを抑えることが必要ではないかという風に思います。コメントでした。

【渡邊議長】

水質測定計画について、何かありますか。

今日は計画の中身というよりは測定結果について議論いただきましたけれども、水質測定計画についてご異議はなかったと思われませんが、今日、示された内容で諮問に対して答申したいと思いがいででしょうか。

【各委員】

(異議なしの声)

【渡邊議長】

ありがとうございます。それでは、今回審議した内容で答申させていただきます。なお、答申後に事務局から各委員には答申の資料を送付します。

(5) その他

【渡邊議長】

予定の時間を超過してしまいましたが、委員の中で意見等あればご発言ください。

【松枝委員】

今後、仮に東京電力(株)がアルプス処理水を海洋に放出する場合に、水質汚濁防止法上ではなく、海洋汚染防止法上、国がトリチウム濃度等を測定することになると思われますが、県でも測定ができる体制をとっていただきたい。

【渡邊議長】

水・大気環境課の所掌外のところもあると思うので、環境審議会で見解があった旨を所管する部署につないでほしいと思います。

【崎田委員】

水質測定計画の最後のページにある放射性物質の常時監視について、質問をするかしないか迷っていましたが発言します。今後海洋なのか、蒸発して大気中なのかはわかりませんが、アルプス処理水の処分については、いつのタイミングかというのも議論の最中ではありますが、国の委員会に私も参加していて、その席でいつも話をしていくことがあります。国が処分方法の決断をする前に、きちんと地域の方と十分に意見交換をした上で、特にモニタリング

のやり方について、かなり明確に決めてほしいと発言しています。これは皆さんに安心感とか信頼感を持っていただきながら廃炉を進めていくことが大事だと思っています。ですから、そのような相談があった際にどのようにモニタリングをしていくのか、県民の皆さんや県がどのように関わるのか等検討いただくのも良いと思います。

【渡邊議長】

この審議会の議題かどうかは別として、安全・安心という点では重要な課題であり、今後の課題と思います。

【小池主幹兼副課長】

放射性物質に関しては、大気汚染防止法や水質汚濁防止法の中でも規定はありますが、所掌としては国で、また県の組織の中では放射線監視室が担当しているので、そちらに対し、いただいた意見をつなぎます。当審議会に情報提供できるものについては検討していきたいと思います。

【河津委員】

関連してですが、環境審議会の守備範囲がどこまでかというのが問題で、福島県はこれだけ広くて、環境全体のことを考えた場合に審議事項ではないにしても、報告事項として放射性物質についても取り扱ってほしいと思います。今、話にあったアルプス処理水の処分についても関心が高いです。県の中でどういう位置づけにあるか等、報告で構わないので、お話いただく機会があってもよいと思います。

【渡邊議長】

廃炉安全監視協議会や廃炉安全確保県民会議等廃炉を専門に扱う会議体もありますが、環境全般について、環境審議会として情報収集したいとも思いますので、検討いただければと思います。

(6) 閉会